

# 一般国道55号(阿南安芸自動車道)海部野根道路に係る新規事業採択時評価

- ・南海トラフ地震発生時に住民の避難や緊急物資の支援を支える『命の道』として機能するよう津波浸水域を避けつつ役場や防災拠点、集落を連絡。四国横断自動車道、高知東部自動車道と一体となって四国8の字ネットワークを構成。
- ・都市部や空港からのアクセスを改善し四国東南地域における観光振興や地域産業の育成・発展を支援するとともに、高次救急医療機関へのアクセス向上により、緊急搬送など医療活動を支援。

## 1. 事業概要

- ・起終点: 徳島県海部郡海陽町多良野 ~ 高知県安芸郡東洋町野根
- ・延長等: 14.3km  
(第1種3級、2車線、設計速度80km/h)
- ・全体事業費: 約730億円
- ・計画交通量: 約1,900~3,200台/日

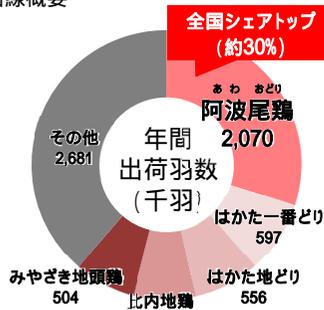
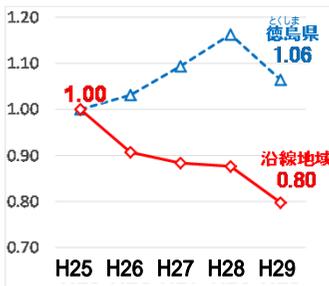
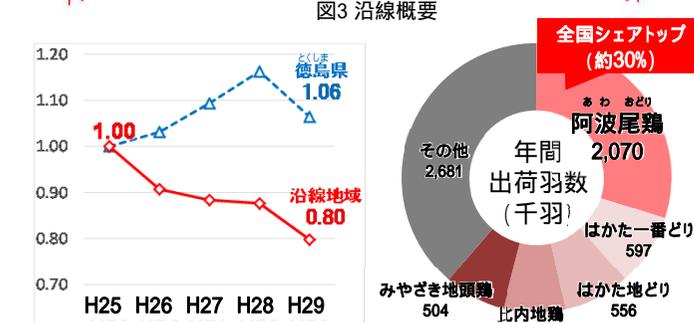
## 2. 課題

### 南海トラフ地震等に対する地域ネットワークの脆弱性

- ・唯一の幹線道路である国道55号(海部~野根)のうち約7割が津波浸水。
- ・穴喰IC付近では、穴喰地域防災公園の整備が予定されており、円滑な避難や救助のためのアクセスの確保が課題(図3)。

### 周遊観光・地域産業促進による四国東南地域の活性化

- ・徳島県全体の観光入込客数が増加傾向。一方、四国東南地域は、海洋レジャーなど自然豊かな観光資源が存在するものの、観光入込客数は減少傾向。関西圏からのアクセス強化や広域周遊ルートの形成が必要。(図4)
- ・また、海陽町では全国地鶏出荷量トップの『阿波尾鶏』が生産・加工されているが、出荷時や日々の餌の運搬・確保のためには、急カーブ・急勾配箇所による運転者への負担軽減と、現道途絶時にも対応可能な道路ネットワークが必要。(図5)



## 高次医療施設へのアクセス

- ・第二次救急医療機関である県立海部病院への救急搬送は、当該地域唯一の緊急輸送道路である国道55号を利用しているが、急カーブや急勾配箇所が多数あり、患者の負担となっている。
- ・さらに、当該地域から第三次救急医療機関への移動は、救急車両であっても約95分も要し、迅速な治療が受けられない。(図6)

## 3. 整備効果

### 効果1 防災機能の強化・災害に強いまちづくりを支援[ ]

- ・津波浸水する国道55号に代わり、浸水しない当該路線が円滑な救援活動に寄与。
- ・地域防災公園を中心に、沿線地域間で連携を促進できる防災まちづくりに寄与。

〔阿南安芸自動車道 海部~野根間を移動する経路における津波浸水区間の延長〔現況〕約7割(国道55号経由) 〔整備後〕0km(阿南安芸自動車道経由)〕

### 効果2 観光振興や産業振興に寄与[ ]

- ・関西圏からのアクセス強化や、広域周遊ルートの形成により、魅力ある四国東南地域の観光振興を支援。

〔徳島空港から生見サーフィンビーチへの所要時間〔現況〕147分 〔整備後〕141分(約6分短縮)〕

### 効果3 安全・安心な医療アクセスの確保[ ]

- ・四国東南地域から高次医療施設への搬送時間短縮や安静搬送により患者への負担を軽減。

〔野根地域から海部病院への所要時間〔現況〕32分 〔整備後〕26分(約6分短縮)〕

〔野根地域から徳島赤十字病院への所要時間〔現況〕95分 〔整備後〕89分(約6分短縮)〕

〔国道55号(野根地域~海部病院間)の急カーブ、急勾配箇所の解消〕

〔現況〕急カーブ34箇所、急勾配8箇所

〔整備後〕急カーブ5箇所(29箇所減)

急勾配1箇所(7箇所減)



費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR <sup>1)</sup>	総費用	総便益
1.1	4.6%	3,072億円	3,357億円
(0.1)	(-4.3%)	(540億円 <sup>2)</sup> )	(50億円 <sup>2)</sup> )

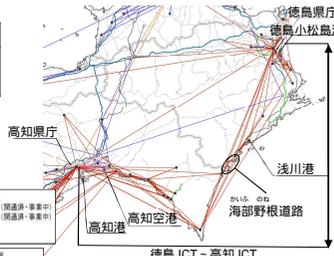
注) 上段の値は、四国横断自動車道・高知東部自動車道・阿南安芸自動車道(徳島JCT~高知JCT)を、下段( )書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果

1: EIRR: 経済的内収益率

2: 基準年(平成30年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

改善ペア数	脆弱度(防災機能ランク)		累積脆弱度の変化量	改善度		評価
	整備前	整備後		通常時	災害時	
73(5)	0.85 [C] [C]	0.75 [C] [C]	1385.8 (57.3)	0.21 (0.01)	0.14 (0.00)	

注) 上段の値は、徳島JCT~高知JCTを対象とした場合、下段( )書きの値は事業化区間を対象とした場合の防災機能評価結果 被災する拠点を最寄りインターチェンジを拠点とし評価



# 一般国道55号(阿南安芸自動車道)海部野根道路に係る新規事業採択時評価

